

令和 7 年度 社会福祉法人八海福社会事業報告書

(自令和 7 年 4 月 1 日～至令和 8 年 3 月 3 1 日)

1. 事業概況

前年度 80 人に定員変更した特養は順調に推移し、年間延べ人数で計画を 300 人以上上回る稼働実績を挙げました。一方、居宅サービスのデイ・ショートは計画には僅かに届きませんでした。デイは前年度を上回り、ショートは概ね 90%の稼働を維持してきました。また、高齢者の自立支援・重度化防止という介護保険制度の根幹に基づく、機能訓練・口腔衛生管理・栄養管理について、計画的かつ一体的に連携する体制づくりを進めてきました。さらに、義務化された感染症や災害対応力強化を図る業務継続計画の整備と研修訓練をはじめ、全 16 回の法定研修の実施を重点に取り組んできました。

緊急を要する介護人材不足は、一層深刻化しました。正規雇用の離職に歯止めがかからず、短時間パート雇用を繋ぎあわせて、ようやく組み立てるといった勤務が常態化しました。こうしたなか、厚労省は介護人材確保・職場環境改善事業を打ち出しました。この事業を活用し、給与や処遇改善を図りながら業務の効率化を進めようと、中核となる職員で構成する委員会を設置しました。まだ結果は表れていませんが、自らの労働環境を改善しながらサービス向上を図ろうと、課題の洗い出しに着手しました。

また、円安と緊迫した中東情勢が続くなか、給食材料や燃料・資材の高騰に歯止めがかからず、コストの増加はさらに拡大しました。コスト高をサービス料金に転嫁することができず、我慢の 1 年となりましたが、8 年度に臨時報酬改定が行われることになりました。この物価高騰を受け、県と市はそれぞれ 2 度の物価高騰対策緊急支援補助金を交付しました。

施設では、照明器具の LED 化工事、太陽光発電システム交換工事を行い、省エネ化を図りました。さらに、消雪井戸を新規取得し、苦慮していた冬期の除雪作業負担を大幅に軽減しました。

法人運営を取り巻く環境は一層厳しいものとなりましたが、持続可能な組織運営のため、人づくりを大きな目標として人員確保に取り組んできました。以下、今年度の主な事業内容を報告いたします。

2. 経営する事業

(1) 第 1 種社会福祉事業

① 特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホーム雪椿の里）

(2) 第 2 種社会福祉事業

① 老人短期入所施設の経営（雪椿の里ショートステイ）

② 老人デイサービス事業の経営（雪椿の里デイサービスセンター）

③ 老人居宅介護等事業の経営（雪椿の里居宅介護支援事業所）

(3) 管理別事業（令和6年7月指定更新）

種 別	事業所番号	指定年月日	有効期限
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム雪樺の里（定員 80 人）	1572400909	R 6. 7. 1	R12. 6.30
（介護予防）短期入所生活介護 雪樺の里ショートステイ（定員 10 人）	1572400891	R 6. 7. 1	R12. 6.30
通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 24 人）	1572400883	R 6. 7. 1	R12. 6.30
介護予防通所介護相当サービス 雪樺の里デイサービスセンター		R 6. 7. 1	R12. 6.30
（介護予防）認知症対応型通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 10 人）	1592400178	R 6. 7. 1	R12. 6.30
居宅介護支援 雪樺の里居宅介護支援事業所	1572400925	R 6.12. 1	R12.11.30

3. 管理別事業の状況

(1) 特別養護老人ホーム

特養は年間延べ人数 28,229 人、1 日平均利用者数 77.3 人、年間稼働率は 96.7%で計画を上回り推移してきました。平均介護度は 4.0、平均年齢は 90.5 歳（男性 89.1 歳、女性 90.8 歳）となり、90 歳以上が 64.1%を占め、年齢は上昇、介護度は横ばいとなりました。

退所者数は 32 人（男性 7 人、女性 25 人）で、うち施設看取りが 29 人、退所者平均年齢は 91.9 歳、平均在所期間は 29 か月でそのほとんどが老衰の診断を受けています。

入院の状況をみると、年間 25 人、延べ 285 日（1 回平均 11.4 日）で、大幅に減少しました。しかし、入所後すぐに体調を崩しお看取りとなるケースが見られたほか、医療依存度の高い入所者が増加しました。

また、年間を通して感染症対策と予防活動に努めてきましたが、10 月に発生した新型コロナウイルスは大きなクラスターとなり、サービス運営に大きな影響を及ぼしました。

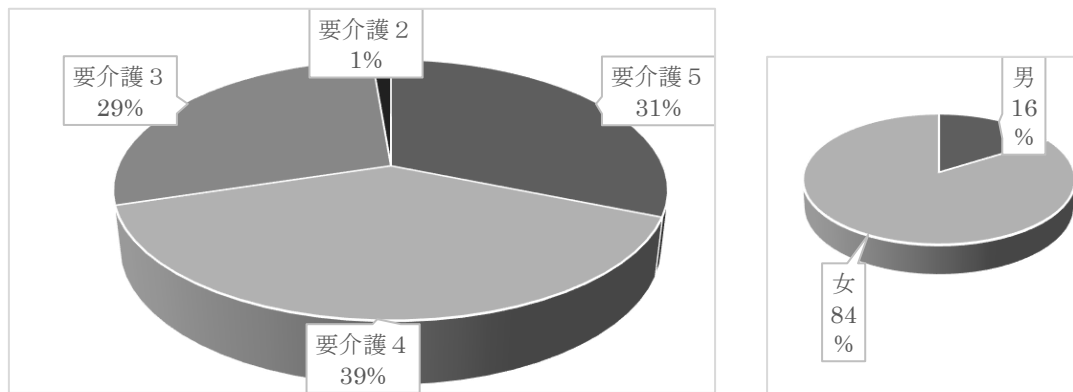
① 年間稼働状況

年 度	稼働日数	利用延べ人数	平均利用者数	年間稼働率
3 年度	3 6 5 日	2 4 , 8 0 5 人	6 8 . 0 人	9 7 . 1 %
4 年度	3 6 5 日	2 4 , 3 9 7 人	6 6 . 8 人	9 5 . 5 %
5 年度	3 6 6 日	2 4 , 3 1 0 人	6 6 . 4 人	9 4 . 9 %
6 年度	3 6 5 日	2 6 , 4 1 3 人	7 2 . 4 人	9 3 . 4 %
7 年度	3 6 5 日	2 8 , 2 2 9 人	7 7 . 3 人	9 6 . 7 %

※6 年度稼働率は加重平均

② 介護度構成比 (R8.3.31) 平均要介護度 4.0

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
—	1.3%	28.5%	39.0%	31.2%	16.2%	83.8%



③ 年齢構成 (R8.3.31) 平均年齢 90.5 歳

79 歳以下	80~84 歳	85~89 歳	90~94 歳	95~99 歳	100 歳以上
7 人	8 人	13 人	24 人	18 人	8 人

④ 入退所の状況

入 所 経 路				
在 宅	医療機関	介護老人保健施設	有料老人ホーム等	合 計
17 人	4 人	4 人	6 人	31 人

※ 雪椿の里デイ・ショート利用者の入所 9 人

退 所 経 路				
施設看取り	医療機関死亡	入院後退所	在宅復帰	合 計
29 人	3 人	0 人 (自宅看取り)	0 人	32 人

⑤ 地区別の受入状況 (R8.3.31)

地 区	南 魚 沼 市			魚 沼 市	湯 沢 町	長 岡 市
	大和地区	六日町地区	塩沢地区			
人 数	36 人	28 人	9 人	3 人	1 人	1 人

⑥ 入居者の ADL（日常生活動作）状況（R8.3.31）

■食事形態

項 目	経 管	常 食	きざみ	極きざみ	ミキサー	ムース	ゼリー	合 計
3 年度	2 人	15 人	24 人	15 人	8 人	6 人	0 人	70 人
4 年度	2 人	9 人	21 人	20 人	12 人	6 人	0 人	70 人
5 年度	3 人	10 人	10 人	26 人	13 人	8 人	0 人	70 人
6 年度	3 人	10 人	21 人	21 人	21 人	4 人	0 人	80 人
7 年度	3 人	13 人	19 人	24 人	14 人	5 人	0 人	78 人

■入 浴

項目	一般浴	特 浴
3 年度	8 人(11.4%)	62 人(88.6%)
4 年度	7 人(10.0%)	63 人(90.0%)
5 年度	7 人(10.0%)	63 人(90.0%)
6 年度	10 人(12.5%)	70 人(87.5%)
7 年度	15 人(19.2%)	63 人(80.8%)

■おむつ使用

項目	お む つ	リハパン	な し
3 年度	39 人(55.8%)	12 人(17.1%)	19 人(27.1%)
4 年度	50 人(71.4%)	10 人(14.3%)	10 人(14.3%)
5 年度	51 人(72.8%)	9 人(12.9%)	10 人(14.3%)
6 年度	52 人(65.0%)	20 人(25.0%)	8 人(10.0%)
7 年度	50 人(64.1%)	26 人(33.3%)	2 人(2.6%)

■移 動

項 目	自 立	歩行器	車イス	リクライニング
3 年度	1 人 (1.4%)	5 人 (7.1%)	52 人(74.4%)	12 人(17.1%)
4 年度	1 人 (1.4%)	3 人 (4.3%)	38 人(54.3%)	28 人(40.0%)
5 年度	1 人 (1.4%)	4 人 (5.7%)	35 人(50.0%)	30 人(42.9%)
6 年度	0 人	14 人(17.4%)	33 人(41.3%)	33 人(41.3%)
7 年度	1 人 (1.3%)	17 人(21.8%)	27 人(34.6%)	33 人(42.3%)

⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度の状況（R8.3.31）

レベル	←軽 I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M 重→
人数	2 人	8 人	10 人	25 人	16 人	17 人	0 人

※ 厚労省通知「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

⑧ 医療的ケアの状況（R8.3.31）

項 目	人数	項 目	人数
在宅酸素療法機器	1 人	ストーマ（消化管ストーマ）	2 人
CPAP 呼吸器（睡眠時無呼吸症候群）	1 人	胃ろう	3 人
フォーレ（留置カテーテル）	4 人		

(2) ショートステイ

前年度 10 床に減床したショートステイは、95%の稼働を目指して取り組んできました。新規利用者（30 名）の受け入れや既利用者の利用日数延長に取り組むとともに、キャンセルが発生した際には、居宅介護支援事業所へ速やかに空き情報を提供し、積極的な受け入れを進めてきました。定期的な固定利用者が定着し、一定の稼働確保につながりました。一方で、特養への入所や体調不良による直前のキャンセルも多く、89.9%の稼働率に留まりました。

利用者の状態は、日常生活自立度の低下により介助量が増加したほか、加齢および基礎疾患の進行に伴い、医療的判断や医療的ケアを必要とする事例が増加しました。これらに対応するため、多職種との連携強化や職員の医療的ケアに関する知識・技術の向上に努めてきました。

また、日頃より感染予防対策の徹底を図るとともに、季節毎にレクリエーションを実施し、利用者のみなさまが楽しみながら安心して過ごしていただけるよう取り組んできました。

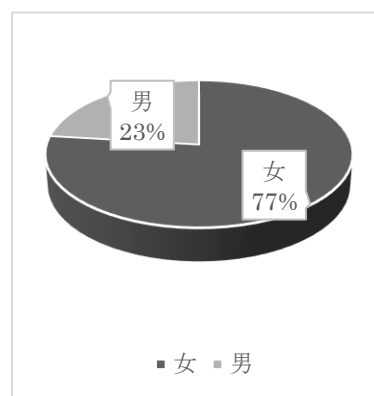
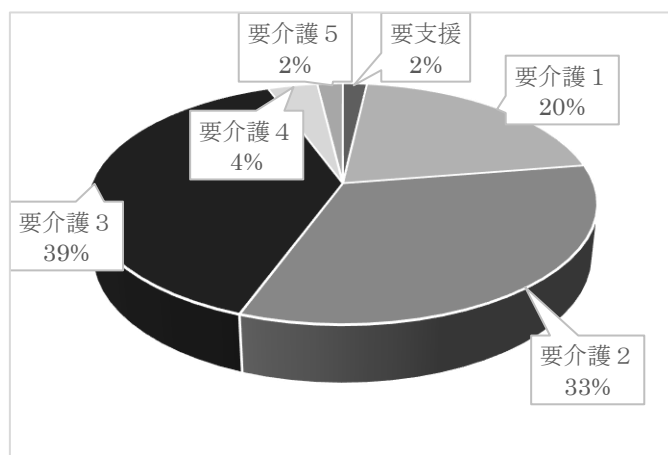
① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	利用実人数	月平均利用日数
3 年度	1 5 . 6 人	78.2%	5 , 7 1 1 人	1 , 0 1 6 人	5 . 6 日
4 年度	1 5 . 6 人	77.8%	5 , 6 7 9 人	9 7 3 人	5 . 8 日
5 年度	1 4 . 9 人	74.5%	5 , 4 5 1 人	1 , 0 4 0 人	5 . 2 日
6 年度	1 0 . 4 人	87.2%	3 , 7 9 8 人	1 , 0 2 8 人	3 . 7 日
7 年度	9 . 0 人	89.9%	3 , 2 8 1 人	7 3 2 人	4 . 5 日

※6 年度稼働率は加重平均

② 介護度構成比 (R8.3.31) 平均要介護度 2.3

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
1.6%	0.2%	20.7%	33.1%	38.8%	3.7%	1.9%	23.1%	76.9%



(3) デイサービス

デイサービスは、昨年に続いて利用人数を伸ばしました。年間の新規登録者数は 20 人で、期末の実登録者数は 64 人となっています。利用延べ人数は、前年を 200 人上回る 5,907 人となりました。

全体的に利用者年齢と介護度が上がり、自立度の低下が見られました。特浴対応・車イス対応・歩行器使用の利用者が増加し、これまで以上に見守りと状態確認が必要となり、リスク対応を強化しました。

また、ストーマ・胃ろうなどのほか、剥離等の皮膚処置や便処置が必要な方が増加しました。医療依存度が高まり、今後のサービス提供に医療的ケアの質・技術の向上が求められています。

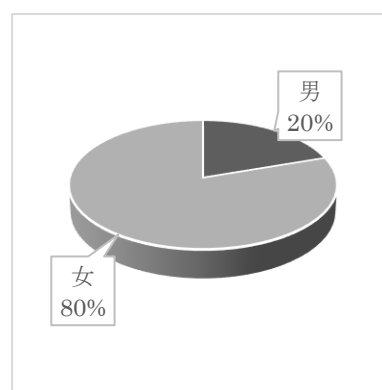
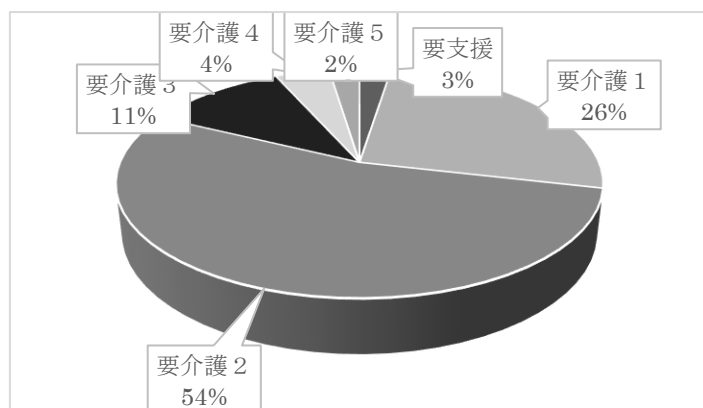
利用者の増加と介助量の増加により、レクリエーション活動が難しくなり、テーブル活動が増えてしまいました。その中でも毎月の行事は欠かさず行い、楽しんでいただくことができました。

① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
3 年度	1 6 . 8 人	84.0%	5 , 2 2 7 人	7 1 2 人	7 . 3 日
4 年度	1 6 . 1 人	80.4%	5 , 0 0 1 人	6 4 3 人	7 . 8 日
5 年度	1 7 . 5 人	74.1%	5 , 4 5 0 人	7 2 1 人	7 . 3 日
6 年度	1 8 . 4 人	76.7%	5 , 7 0 7 人	7 3 5 人	7 . 8 日
7 年度	1 9 . 1 人	79.6%	5 , 9 0 7 人	7 0 9 人	8 . 3 日

② 介護度構成比 (R8.3.31) 平均要介護度 2.0

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
—	2.5%	26.1%	53.6%	11.1%	4.3%	2.4%	19.8%	80.2%



(4) 認知症対応型デイサービス（地域密着型）

認知デイの期末登録者数は17人で、新規契約が5人、契約終了が6人でした。利用回数が多い方の永眠や施設入所による終了が多く、稼働に影響を与えました。

利用傾向として、認知症状の進行ではなく、静かな環境で過ごしたいという希望で認知デイを利用される方が増えました。集団行動が難しく、介助量が増えていることから、職員がマンツーマンで対応してきました。また、張り絵・塗り絵や脳トレ以外にタオルたたみを継続して行いました。毎日行うことで、普段通り過ごしているように見えていてもたたみ方が変わるなど、状態変化に気付くきっかけになりました。

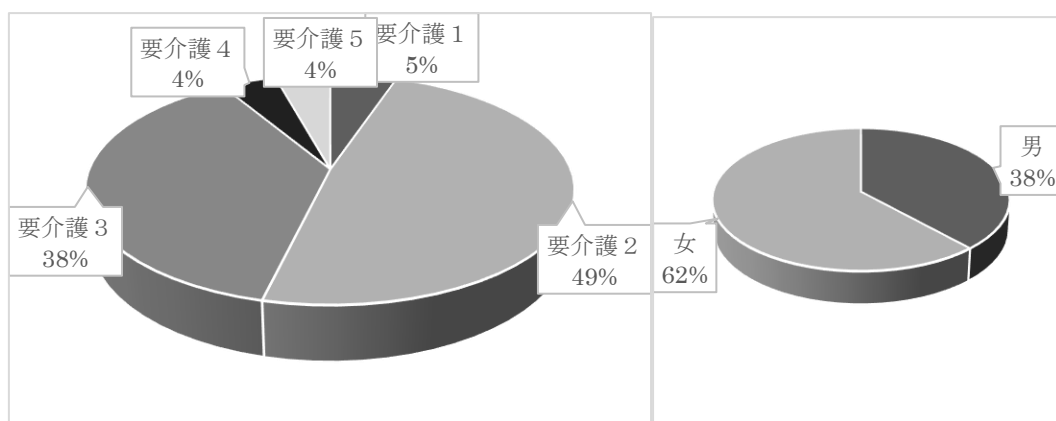
認知デイを広く知っていただくため、圏域の医療福祉従事者を結ぶネットワークに空き情報を提供したほか、認知デイつばき新聞を年4回発行し、活動内容を各居宅介護支援事業所やご家族にお知らせする取り組みを積極的に行ってきました。小規模の優位性を活かし寄り添う介護を第一に心がけ、職員のスキルアップを図りながらサービスの提供に努めてきました。

① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
3年度	7.1人	71.1%	2,212人	221人	10.0日
4年度	6.4人	63.8%	1,985人	232人	8.6日
5年度	6.4人	64.0%	1,989人	244人	8.2日
6年度	7.0人	70.1%	2,176人	247人	8.8日
7年度	6.7人	66.7%	2,068人	222人	9.3日

② 介護度構成比（R8.3.31） 平均要介護度 2.5

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
—	—	5.2%	48.6%	37.7%	4.3%	4.3%	38.2%	61.8%



(5) 居宅介護支援

年間の新規契約者 8 人、契約終了者 5 人となり、期末の契約者数は 31 人となりました。終了者の内訳は施設入所 3 人、死亡 2 人となっています。

新規の契約後、本人の体調不良や意向の変化があり、速やかに介護サービスへつながらないケースが増えてきました。本人の体調と意向を優先しながら、寄り添う支援を心がけてきました。また、認知症独居の方について、包括支援センターと一緒に地域ケア会議を開き支えてきました。

また、雪椿の里デイサービス・ショートステイの利用にあたっては、各担当と綿密な情報共有を行い、緊急時の利用増など個別の支援に努めました。

① 年間契約利用状況

項 目	要介護 契約者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者	要支援 契約者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者
3 年度	29 人	(11 人)	(12 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
4 年度	28 人	(11 人)	(11 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
5 年度	29 人	(13 人)	(11 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
6 年度	27 人	(10 人)	(6 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
7 年度	30 人	(12 人)	(5 人)	1 人	(1 人)	(0 人)

※ () 利用契約者のうち当施設サービス利用者

4. 評議員会・理事会の開催状況

令和 7 年度の評議員会・理事会は、次のとおり開催されました。

(1) 評議員会

①第 1 回評議員会 令和 7 年 6 月 27 日 (金)

【付議事項】

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書の承認について

(報 告) 令和 6 年度科目間流用及び予備費の充当について

第 2 号議案 令和 6 年度 (第 14 期) 決算報告書の承認について

(監査報告書) 監査報告について

《 評議員選任・解任委員会開催 (同日) 》

②第 2 回評議員会 令和 7 年 6 月 27 日 (金)

【付議事項】

第 1 号議案 理事及び監事の選任について

③第 3 回評議員会 令和 8 年 3 月 26 日 (木)

【付議事項】

第 1 号議案 令和 7 年度資金収支補正予算について

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画並びに令和 8 年度資金収支予算について

(2) 理事会

①第1回理事会 令和7年6月20日（金）

【付議事項】

報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

第1号議案 令和6年度事業報告書の承認について

（報告） 科目間流用及び予備費の充当について

第2号議案 令和6年度（第14期）決算報告書の承認について

（監査報告書） 監査報告について

第3号議案 評議員選任・解任委員の任期に伴う選任について

第4号議案 評議員選任候補者の推薦について

第5号議案 理事・監事の就任予定候補者（評議員会決議）について

第6号議案 役員退職慰労金の支給について

第7号議案 評議員会の招集について

②第2回理事会 令和7年6月27日（金）

【付議事項】

第1号議案 理事長及び業務執行理事の選定について

③第3回理事会 令和7年11月28日（金）

【付議事項】

報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

第1号議案 令和7年度上半期事業実績について

第2号議案 定款細則の一部変更について

第3号議案 経理規程の一部変更について

④第4回理事会 令和8年3月19日（木）

【付議事項】

第1号議案 令和7年度資金収支補正予算書について

第2号議案 令和8年度事業計画並びに令和8年度資金収支予算書について

第3号議案 評議員会の招集について

5. 役員等の状況（令和8年3月31日現在）

評議員7名

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
評 議 員	大 平 敏 夫	非 常 勤	
〃	峠 英 男	〃	
〃	遠 山 巖	〃	
〃	佐 藤 哲 哉	〃	
〃	高 橋 正 紀	〃	
〃	田 邊 浩	〃	
〃	高 橋 岳 久	〃	

理事 6 名・監事 3 名

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	若 井 博	常 勤	
業務執行理事	山 口 隆 志	〃	
理 事	種 村 哲 夫	非 常 勤	
〃	清 塚 登	〃	
〃	山 口 恒 一	〃	
〃	井 口 裕 幸	常 勤	施設長（職員兼務理事）
監 事	小 幡 義 夫	非 常 勤	
〃	藤ノ木 靖 子	〃	
〃	金 子 剛	〃	

6. 職員配置の状況

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

職 種	常 勤	非常勤	計	備 考
管 理 者	1		1	
（医 師）		（3）	（3）	嘱託医師・歯科医師
生活相談員	4		4	社会福祉士・主事、兼務 2
看護職員	2	1 2	1 4	
管理栄養士・栄養士	2		2	管理栄養士 1・栄養士 1
機能訓練指導員	1		1	作業療法士
介護職員	4 8	9	5 7	内介護福祉士 47
介護支援専門員	1		1	施設ケアマネ
居宅介護支援専門員	1		1	居宅主任ケアマネ
入浴介助・介護補助員	2	1 5	1 7	
施設管理・運転職員	3	1	4	
施設管理・清掃職員	3	2	5	
給食職員	5	4	9	調理師 5
宿 直 員		3	3	
事 務 員	3	1	4	
合 計	7 6	4 7	1 2 3	（ ）除く

7. 法定研修（運営基準・厚労省令）の実施状況

No.	研 修 ・ 訓 練 項 目	実施日
1	身体的拘束適正化のための研修【1回目】	R7.8.26
2	身体的拘束適正化のための研修【2回目】	R7.10.1
3	虐待防止のための研修【1回目】	R7.8.26
4	虐待防止のための研修【2回目】	R7.10.1
5	事故防止のための研修【1回目】	R7.6.19
6	事故防止のための研修【2回目】	R8.2.28
7	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の研修【1回目】	R7.7.29
8	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の研修【2回目】	R7.12.5
9	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の訓練【1回目】	R7.7.29
10	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の訓練【2回目】	R8.1.26
11	感染症に係る業務継続計画に基づく研修	R7.7.29
12	感染症に係る業務継続計画に基づく訓練	R7.7.29
13	火災避難訓練・通報訓練・消火訓練	R7.5.20
14	火災避難訓練・通報訓練【夜間想定】	R7.11.18
15	自然災害に係る業務継続計画に基づく研修	R7.8.19
16	自然災害に係る業務継続計画に基づく訓練	R7.8.19

8. 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項	備 考
R7. 4. 1	令和7年度辞令交付	
4. 8	ボランティアコンサート	
5. 9	大崎地域づくり協議会花苗配布	
5.14	南魚沼地域特養意見交換会	
5.16	入所検討委員会	
5.20	春季防災訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）	
6. 1	開所記念膳	
6.13	大和地域ケアマネ・介護・医療関係者意見懇談会	
6.15	介護福祉士実務者研修スクーリングスタート	9月まで全7回
6.19	令和6年度決算監査・監事会	

年 月 日	処 理 事 項	備 考
6.19	リスクマネジメント研修会	
6.20	理事会	
6.21	第 1 回口腔衛生管理研修会	中澤歯科医院
6.27	評議員選任解任委員会・評議員会・理事会	
6.28	南魚沼地域介護支援専門員協議会前期研修	2 名
7. 1	特養入所者定期検査	9 月末まで
7.16	参議院議員通常選挙不在者投票	
7.18	入所検討委員会	
〃	傾聴ボランティア	
7.25	ふれあいほっとコンサート	
〃	地域密着型認知デイサービス運営推進会議	
7.28	魚沼サンテックススクール講師派遣	初任者研修
8. 7	職員健康診断・ストレスチェック	
8. 8	大規模自然災害発生訓練（BCP）	
8.12	新潟県老施協運営部会	
8.19	北里大学保健衛生専門学院看護展開基礎研修	8/29 まで
8.26	身体拘束廃止・虐待防止研修会	
9. 2	高齢者虐待防止研修会	
9. 4	新潟県老人福祉施設研究大会	9/5 まで 4 名
9. 8	带状疱疹予防接種	
9. 9	職場のコミュニケーション研修	
9.15	敬老会（100 歳 2 名・米寿 1 名）	
9.19	入所検討委員会	
〃	デイサービス敬老会	
〃	新潟県介護支援専門員協会全体研修	
10.10	法人監査・会計監査	南魚沼市
10.11	南魚沼市縦断駅伝大会	駐車場貸出
10.15	南魚沼市議会議員選挙不在者投票	
10.24	特養・ショート・デイ運営指導監査	新潟県
11. 7	新潟県介護支援専門員協会研修会	
11.13	医療・介護連携のための多職種交流会	
〃	インフルエンザワクチン接種（～12/8）	
11.15	第 2 回口腔衛生管理研修会	中澤歯科医院
11.18	火災避難訓練・通報訓練	夜間想定
〃	階層別研修会	初級

年 月 日	処 理 事 項	備 考
11.21	入所検討委員会	
11.28	定例理事会	
12.10	新潟県老施協第4ブロック部会研修会	
12.12	メンタルヘルス研修会	
12.15	法人代表者意見交換会	
R 8. 1.20	地震発生初動対応訓練	
2. 4	衆議院総選挙不在者投票	
2.10	処遇改善加算オンラインセミナー	
2.13	ハラスメント研修会	
2.16	夜勤者健康診断	
2.25	看取りケア研修会	
3. 2	コロナワクチン接種（～3/9）	
3. 4	魚沼地域メディカル協議会研修会（救急）	2名
3.13	入所検討委員会	
3.15	利用者アンケート実施	回答数 98 件
3.19	理事会	
3.23	地域密着型認知デイサービス運営推進会議	
3.26	評議員会	

9. その他行われた諸会議（定期開催）

(1) 委員会

防災委員会・身体拘束適正化検討委員会・虐待防止検討委員会・給食委員会・感染対策委員会・褥瘡防止検討委員会・事故防止検討委員会・安全衛生委員会・くもん学習委員会・喀痰吸引委員会・生産性向上推進委員会

(2) 外部委嘱委員を伴う会議

苦情解決検討委員会・入所検討委員会・地域密着型デイサービス運営推進会議

(3) その他の内部会議

経営会議（主任以上）・主任リーダー業務連絡会議・フロア会議・ユニット会議

10. 苦情の概要

(1) 特養 1 件

職員の対応について、本人からの苦情。